

別紙 1 : 令和8年度新卒採用技術職・業務分野及び主要拠点一覧

分類	業務分野	No.	関連拠点名	勤務地(採用時予定)
A	研究開発拠点における技術開発分野 ・原子炉・加速器等に関する運転・保守 ・廃止措置及び廃棄物処理・処分 ・燃料製造・再処理技術開発 ・放射性物質等の分析・解析・評価 ・原子力災害対策に係る業務 など	1	福島廃炉安全工学研究所	福島県(大熊町)
		2	原子力安全・防災研究所	茨城県(ひたちなか市)
		3	原子力科学研究所	茨城県(東海村)
		4	J-PARCセンター	茨城県(東海村)
		5	大洗原子力工学研究所	茨城県(大洗町)
		6	核燃料サイクル工学研究所	茨城県(東海村)
		7	人形峠環境技術センター	岡山県(鏡野町)
		8	青森研究開発センター	青森県(むつ市)
		9	敦賀拠点(ふげん・もんじゅ)	福井県(敦賀市)
		10	埋設事業センター	茨城県(東海村)
		11	新試験研究炉推進室	茨城県(東海村) ※プロジェクトの進捗により、今後主となる事業拠点が「福井県(敦賀市)」に移転する可能性があります。
B	核物質管理及び放射線管理・測定・モニタリングに関する技術開発分野		安全・核セキュリティ統括本部	茨城県(東海村、大洗町) 福島県(いわき市、大熊町、富岡町、南相馬市、楢葉町) 北海道(幌延町) 岐阜県(土岐市、瑞浪市) 岡山県(鏡野町) 青森県(むつ市)
C	核不拡散・核セキュリティ・非核化に関する技術開発・人材育成分野		核不拡散・核セキュリティ総合支援センター	茨城県(東海村)
D	建設及びユーティリティ施設の工務技術に関する分野 ・D-1 建設に関する分野 ・D-2 ユーティリティ施設等の工務技術管理に関する分野		建設部	茨城県(東海村、大洗町) 福島県(大熊町、富岡町、南相馬市、楢葉町) 福井県(敦賀市) 北海道(幌延町) 岐阜県(土岐市、瑞浪市) 岡山県(鏡野町) 青森県(むつ市)
E	基幹情報システムの運営・技術開発分野 ・システム計算科学センターでのシステム業務		システム計算科学センター	茨城県(東海村)

別紙1：令和8年度新卒職員（技術系職員）採用募集要項・業務分野詳細

A	業務分野名	研究開発拠点における技術開発分野
A-1	(1) 関連拠点名	福島廃炉安全工学研究所
	(2) 業務概要	東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所の廃炉に向け、事故により溶融・固化した燃料デブリや多種多様な放射性廃棄物等の取扱い、分析技術、評価手法の開発及び高度化を進めています。最先端の分析装置群、試験やシミュレーションも併用しながら内外の専門家との協力体制の下に活動を進めています。また、研究開発を進めるための基盤整備を並行して進め、燃料デブリや放射性廃棄物の分析・研究を担う施設などで、安全、分析、機器運転・管理及び施設等の整備に係る技術管理体制の構築も行います。
	(3) 求める人物像	○燃料デブリや放射性廃棄物の取扱い・分析に係る、技術開発（試料の破砕、切断等によるサンプリング、固体分析、溶液分析等）及び分析施設の機械・電気設備の整備・管理に意欲と責任をもって取り組むことができる人 ○課題を解決するために、自らの意思で行動を起こし、職場の仲間とともに協力しながらその解決に向けて、柔軟に取り組むことができる人 ○現状に満足せず、常にカイゼンする意識をもちながら積極果敢に物事に取り組み、福島復興に貢献するゆるぎない意志を持つ人
	(4) アピールポイント	廃炉を安全かつ着実に進めるための技術課題の解決を目指します。私たちの取り組みが廃炉と、その先の福島の復興に不可欠で社会的に果たす役割は大きいと思います。 加えて、世界に類のない取組と言え、将来の第一人者としての知識と経験が得られます。特にこれから本格化する燃料デブリの分析については、分析手法及び設備運用を1から確立していくフロントランナーとしての経験が得られます。
	(5) 勤務地 (採用時予定)	福島県(大熊町)
	(6) 関連分野	理学系： <input checked="" type="checkbox"/> 数学・情報 <input checked="" type="checkbox"/> 物理 <input checked="" type="checkbox"/> 化学 <input type="checkbox"/> 生物・農学 <input checked="" type="checkbox"/> 地学・地球科学 <input type="checkbox"/> 量子科学 工学系： <input checked="" type="checkbox"/> 機械・システム工学 <input checked="" type="checkbox"/> 電気・電子 <input checked="" type="checkbox"/> 材料 <input type="checkbox"/> 土木建築 <input checked="" type="checkbox"/> 環境工学 <input checked="" type="checkbox"/> 原子力工学 その他：
	(7) 関連するHP	https://fukushima.jaea.go.jp/ https://fukushima.jaea.go.jp/recruit/

別紙1：令和8年度新卒職員（技術系職員）採用募集要項・業務分野詳細

A-2	(1) 関連拠点名	原子力安全・防災研究所
	(2) 業務概要	原子力機構では、福島第一原子力発電所事故の教訓を踏まえた新しい原子力災害対策の考え方に基づき、発災時の対応にあたる国や地方公共団体に対して人的・技術的支援を実施しています。本分野では、緊急時の放射線モニタリング技術や緊急時における被ばく線量の評価技術の開発、国や地方公共団体の防災関係者への研修など、原子力災害対策の高度化を目指した業務を幅広く行っています。
	(3) 求める人物像	原子力防災や災害対策に意欲的に取り組む方、住民や社会への貢献を志す方を募集します。
	(4) アピールポイント	原子力に関する緊急時には国の意思決定や地方公共団体の住民避難等を支援する重要な役割を担います。平常時には、我が国の原子力防災の実効性向上に資する技術開発を進めており、能登半島地震を踏まえてその重要性が改めて認識された自然災害と原子力災害の複合災害への対応についても重点化して取り組んでいます。
	(5) 勤務地 (採用時予定)	茨城県（ひたちなか市）
	(6) 関連分野	理学系： <input checked="" type="checkbox"/> 数学・情報 <input checked="" type="checkbox"/> 物理 <input checked="" type="checkbox"/> 化学 <input checked="" type="checkbox"/> 生物・農学 <input checked="" type="checkbox"/> 地学・地球科学 <input checked="" type="checkbox"/> 量子科学 工学系： <input checked="" type="checkbox"/> 機械・システム工学 <input checked="" type="checkbox"/> 電気・電子 <input checked="" type="checkbox"/> 材料 <input checked="" type="checkbox"/> 土木建築 <input checked="" type="checkbox"/> 環境工学 <input checked="" type="checkbox"/> 原子力工学 その他：
	(7) 関連するHP	https://www.jaea.go.jp/04/shien/

別紙1：令和8年度新卒職員（技術系職員）採用募集要項・業務分野詳細

A-3 (1) 関連拠点名 原子力科学研究所

(2) 業務概要

原子力科学研究所で行っている、国内でも他に類をみない様々な原子力基盤研究施設を利用したユニークな研究開発活動を、高度な専門技術者として支援する人材を募集します。
①試験研究炉, タンデム加速器施設, 臨界実験装置及びホットラボ施設の運転管理・保守管理、廃止措置を行います。
また、原子力をはじめその他の幅広い分野の専門性を活かして、試験研究炉JRR-3の利用性能の向上（中性子強度の増強、医療用RIの増産など）に向けた技術開発を行います。
②放射性廃棄物の減容安定化処理・保管管理、分析・測定及び使命を終えた原子力施設の廃止措置及び技術開発を行います。また、将来のバックエンド対策を推進する技術開発を行います。
③放射性廃棄物を有用な資源に変えることを狙いとした技術開発を行います。具体的には、ホット施設において白金族・レアメタル等の希少元素を分離する技術、分離した放射性元素を熱源や電池として活用するための技術開発を行います。また、劣化ウランを大容量蓄電池として活用するための技術開発を推進します。

(3) 求める人物像

- ・ユニークな研究開発の基盤を支える専門技術者を目指し、自分の専門分野以外にも積極的に取り組み、知識・技術の習得に意欲的に取り組める方。
- ・役割をしっかりと認識するとともに、個人の特徴・能力を存分に発揮して、同じ目標に向かって一丸とって取り組むことができる方。
- ・原子力技術や他の技術を組み合わせ、新たな価値を創造することを目指し、意欲的にチャレンジしようとする意思のある方。

(4) アピールポイント

原子力科学研究所は、「放射性物質の再資源化」「リニューアブル社会への貢献」「医療用RIの製造」「原子力施設の更なる安全性向上」を4本柱として、原子力の基礎・基盤から物質科学、先端基礎科学まで多岐にわたる研究分野において原子力利用と科学技術を支える国内唯一の研究所です。

(5) 勤務地
(採用時予定)

茨城県（東海村）

(6) 関連分野

理学系: 数学・情報 物理 化学 生物・農学 地学・地球科学 量子科学
工学系: 機械・システム工学 電気・電子 材料 土木建築 環境工学 原子力工学
その他:

(7) 関連するHP

<https://www.jaea.go.jp/04/ntokai/>

別紙1：令和8年度新卒職員（技術系職員）採用募集要項・業務分野詳細

A-4 (1) 関連拠点名 J-PARCセンター

大強度陽子加速器施設J-PARCは、約65万平方メートル、東京ドーム14個分の大きさをもつ巨大な研究施設で、物質中の原子・分子の構造から物質・生命の起源を探る研究や、素粒子や原子核の研究から宇宙の始まりの謎を解く研究を進めている。

(2) 業務概要

①J-PARC加速器設備の維持管理及び機器の高度化開発
J-PARCでは現在、加速器の高度化を推進し定格ビームパワー1MWでの安定かつ高稼働率運転を目指すとともに、将来のビームパワー増強を目指した新たな技術開発に取り組んでいる。

②J-PARC核破砕中性子源設備の維持管理及び機器の高度化開発
核破砕中性子源は、大強度陽子加速器により加速された陽子ビームにより、世界最高強度のパルス中性子ビームを発生させ、中性子実験装置群に供給する施設であり、物質科学、生命科学の広範な分野で最先端の研究を支えている。核破砕中性子源の(1)中性子を生成する中性子標的設備、(2)高放射化物を取り扱うための遠隔操作設備、(3)冷却水やガスの供給・循環・処理設備、(4)極低温液体水素循環設備等の中から当人の興味や適性を考慮して主担当設備を決定し、運転・維持管理、及びこれら設備の高度化開発業務に従事する。設備の運転・維持管理は交換機器の製作や設備保守の契約手続き・監理、故障対応、保守作業の計画立案や作業管理なども含む。また、設備運転・作業の省力化、機器の信頼性と性能向上のための技術開発を行う。

(3) 求める人物像

①J-PARC加速器設備の維持管理及び機器の高度化開発
加速器は、ビーム発生装置、高周波源、直流／パルス電源、真空、ビーム診断および制御など、様々な技術の集合体です。このような分野の技術開発や利用の経験がある方はもちろん、未経験でも意欲的に取り組む人材を求めます。

②J-PARC核破砕中性子源設備の維持管理及び機器の高度化開発
本核破砕中性子源は、多岐に渡る様々な構成機器が相互に関連する総合システムであるため、担当する設備だけでなく関連する他設備の専門的な知識も吸収し、自ら探求する心と新たな知見を積極的に取り込む意欲を持ち、業務に真面目に、かつ意欲的に取り組む人材を求めます。

(4) アピールポイント

①J-PARC加速器設備の維持管理及び機器の高度化開発
加速器の技術開発に直接関与し、世界最先端の技術に触れる機会が豊富にある。加速器は様々な技術の集合体であるため、多種多様な技術開発に携わることができ、自身の技術力や知見を磨く環境が整備されている。J-PARCでは、国内だけでなく海外の技術者等と情報交換を行うとともに、職員が外国に出張し技術開発の成果を報告する機会も多くあることから、グローバルに活躍することができる。

②J-PARC核破砕中性子源設備の維持管理及び機器の高度化開発
パルス中性子ビームを用いた実験は、物質科学や生命科学の先進的な研究を行う上で非常に有効な手段であり、米国、EU諸国、中国など世界中の主要な国々が、高出力かつ高性能のパルス中性子源の開発に凌ぎを削っている。その中で本核破砕中性子源は、パルス当たりのビーム強度において圧倒的な世界最高性能を実現しており、今後更に高性能化を目指す上で技術協力・共同研究など国際的に活躍する機会が多い。また、専門とする分野にとどまらず広範な知見に接する機会が多く、業務に必要な資格や技術の取得を積極的にサポートする。

(5) 勤務地
(採用時予定) 茨城県(東海村)

(6) 関連分野

理学系: 数学・情報 物理 化学 生物・農学 地学・地球科学 量子科学
工学系: 機械・システム工学 電気・電子 材料 土木建築 環境工学 原子力工学
その他:

(7) 関連するHP <https://j-parc.jp/c/>
<https://mlfinfo.jp/ja/facility/sources.html#23072ac4>

別紙1：令和8年度新卒職員（技術系職員）採用募集要項・業務分野詳細

A-5 (1) 関連拠点名 大洗原子力工学研究所

(2) 業務概要

当研究所では、「カーボンニュートラルな社会」と「低資源・高効率な社会」の実現を目指し、人類社会への貢献を目標に、主に安全性や効率性の優れた次世代革新炉の研究開発に取り組んでいます。

燃えないウランを資源に変えてエネルギーを安定的に確保したり、高レベル放射性廃棄物の有害度を低減するとともに、がんの画期的な治療につながる医療用ラジオアイソトープを国産化するための高速炉サイクル技術開発^{※1}、また、取り出した900℃を超える高温熱を水素製造などに利用することで工業地帯の脱炭素化促進にも期待が寄せられる高温ガス炉及びこれを用いた水素製造・熱利用技術の実証に向けた技術開発^{※2}が主要な業務になります。

当研究所では、次世代革新炉を含む原子力に係る課題を総合工学により解決するために、高速実験炉「常陽」運転、高温ガス炉「HTTR」運転や関連する様々な研究開発施設や先端機器を活用した技術開発を展開しています。その他、原子力施設の廃止措置技術開発や放射性廃棄物処分に係る技術開発も取り組んでおります（なお、一部の業務は、核燃料サイクル工学研究所勤務の可能性がります）。

このような業務を達成するために、当研究所では、原子力工学のみならず幅広い分野の方を募集しています。採用後は、技術系職員として、施設の運転・保守管理、実験及び実験に必要な設備の開発・運転、廃止措置技術開発、放射性廃棄物処理処分に係る技術開発に加え、国際協力、企画、プロジェクト管理、行政機関対応など、採用者の特長を生かして組織目標達成に貢献し活躍できる人材を募集しています。

主要プロジェクト一覧については、[こちら](#)をご確認ください。

※1 <https://www.jaea.go.jp/04/sefard/aboutus/>

※2 <https://www.jaea.go.jp/04/o-arai/nhc/jp/index.html>

(3) 求める人物像

○原子力の研究開発には地域や社会からの信頼が必要であり、技術者としての能力に加えて、様々なステークホルダーの期待や要望に耳を傾け、共に研究開発を進められるコミュニケーション能力とバイタリティのある人材。

○常に好奇心と向上心を持ち、新たな課題にも創意工夫で立ち向かうチャレンジ精神が旺盛で、自ら、専門分野のみならず異分野に対しても技術の深さと広がり伸ばすことができる人材。

(4) アピールポイント

2050年の脱炭素社会実現、そして安定かつ持続可能なエネルギー供給実現のため、我々と共に研究開発を進めませんか。

研究所がある大洗町は、太平洋に面した風光明媚な観光地としても全国的に知られています。このような環境のもと、原子力に関する国内唯一の総合的研究開発機関の一員として、スケールの大きな最先端科学技術開発を通じて、あなた自身の成長とともに、将来の社会をより良いものへと導いていきましょう。

(5) 勤務地
(採用時予定)

茨城県(大洗町)

(6) 関連分野

理学系: 数学・情報 物理 化学 生物・農学 地学・地球科学 量子科学

工学系: 機械・システム工学 電気・電子 材料 土木建築 環境工学 原子力工学

その他:

(7) 関連するHP

https://www.youtube.com/watch?v=_JKsymbSDUI

<https://www.jaea.go.jp/04/o-arai/index.html>

<https://www.jaea.go.jp/04/o-arai/research/research.html>

別紙1：令和8年度新卒職員（技術系職員）採用募集要項・業務分野詳細

A-6 (1) 関連拠点名 核燃料サイクル工学研究所

当研究所では、核燃料サイクル技術開発によるカーボンニュートラルへの貢献と持続的なバックエンド対策の着実な推進を柱に、以下の業務を海外とも協力しながら実用的な研究開発・技術開発を進めています。

○核燃料サイクルに係る研究開発・技術開発

次世代炉用燃料設計・研究、次世代燃料用製造プロセス開発、MA含有燃料等の物性研究、軽水炉MOX燃料等の再処理技術開発、高速炉燃料等の再処理技術開発（MA分離回収含む）、AI等を活用した検査技術開発、分析用標準試料の技術開発、保障措置用先進非破壊測定技術開発

(2) 業務概要

○放射性廃棄物の処理処分に係る研究開発・技術開発

高レベル放射性廃棄物及びTRU廃棄物の処理・処分の研究開発、低レベル放射性廃棄物の処理・処分の技術開発、遠隔廃止措置技術開発、東電福島第一原子力発電所の廃止措置に係る研究開発、福島オフサイト廃棄物の処理技術開発

○東海再処理施設の廃止措置

東海再処理施設の廃止措置技術開発（除染技術開発、高線量下での遠隔解体技術開発、分析技術開発等）、廃棄物の減容安定化・廃棄体化技術開発（ガラス固化、セメント固化等）及び廃止措置プロジェクトの最適化手法の開発

上記の他、研究施設の運転・維持管理及び技術の高度化に係る業務

(3) 求める人物像

○新しい技術開発に果敢にチャレンジし、好奇心・探求心にあふれ、多くの仲間とチームでプロジェクトを推進したいと志している人材。

○困難な課題に対しても、解決策を前向きに考えて自発的に行動できる人材。

○核燃料サイクルに関する技術開発、国内初となる大型核燃料施設の廃止措置という長期プロジェクト完遂には様々な知識・技術が求められるため、原子力に限らず幅広い分野の人材。

(4) アピールポイント

核燃料サイクル工学研究所の最大の特長は、原子炉以外の核燃料サイクル（プルトニウム燃料製造、使用済燃料の再処理、廃棄物の処理・処分、施設の廃止措置）に関するR&Dを行う様々な研究開発施設や、核燃料物質（ウラン、プルトニウム）、核分裂生成物（30以上の元素、核種）、材料（金属、セラミックス、ガラス、セメント等）の取扱いが出来る実験室レベルから工学規模レベルまでの多様な施設があり、社会実装を目指した研究開発を実施できることです。また、政府により2050年カーボンニュートラルを目指したGX（グリーントランスフォーメーション）実現への基本方針が発表されるなど、「核燃料サイクル」の重要性が再認識されています。当研究所は、エネルギーセキュリティやGXの実現の観点から次世代の明るい未来に繋げるため、核燃料サイクルに係る様々な研究開発を進めると同時に、東海再処理施設に代表される国内で前例のない大規模な核燃料施設の廃止措置を並行して進めるといった難しい目標にチャレンジしています。この目標達成に向けては、柔軟かつ発想豊かな感性とバイタリティに溢れた皆さんの力が必要不可欠です。是非私たちとともに働いて頂けることを期待しています。

(5) 勤務地
(採用時予定)

茨城県（東海村）

(6) 関連分野

理学系： 数学・情報 物理 化学 生物・農学 地学・地球科学 量子科学

工学系： 機械・システム工学 電気・電子 材料 土木建築 環境工学 原子力工学

その他：

(7) 関連するHP

<https://www.jaea.go.jp/04/ztokai/index.html>

<https://www.jaea.go.jp/04/ztokai/recruitment/index.html>

<https://www.jaea.go.jp/04/ztokai/cyclemovie/>

別紙1：令和8年度新卒職員（技術系職員）採用募集要項・業務分野詳細

A-7	(1) 関連拠点名	人形峠環境技術センター
	(2) 業務概要	人形峠環境技術センターの原子力施設の廃止措置及び鉱山施設の閉山措置を安全かつ着実に進めるため、核燃料物質、鉱さい等を適切に管理し、六フッ化ウランの譲渡しに向けた検討、ウラン廃棄物の処理・処分、閉山措置に係る技術開発等を推進するために、以下の業務を行う人材を幅広く募集します。
	(3) 求める人物像	学生時代の専攻は問わず、新しい技術開発や技術の応用に果敢にチャレンジし、多くの仲間とチームでプロジェクトを推進したいと志している人材を求めています。
	(4) アピールポイント	人形峠環境技術センターは、使命を終えた大型核燃料施設の我が国初めてとなる廃止措置の先駆者としてウラン廃棄物を安全に処理・処分するといった今後の日本にとって必要不可欠な研究に取り組んでいます。我々が行っているこの研究がいずれは世界のスタンダードになるかもしれません。また、小規模な拠点だからこそ、上級職と若手との距離も近く、なんでも相談できる職場環境があり、幅広い業務経験により知識やスキルが身につき、若手のうちから活躍できます！
	(5) 勤務地 (採用時予定)	岡山県(鏡野町)
	(6) 関連分野	理学系： <input checked="" type="checkbox"/> 数学・情報 <input checked="" type="checkbox"/> 物理 <input checked="" type="checkbox"/> 化学 <input checked="" type="checkbox"/> 生物・農学 <input checked="" type="checkbox"/> 地学・地球科学 <input checked="" type="checkbox"/> 量子科学 工学系： <input checked="" type="checkbox"/> 機械・システム工学 <input checked="" type="checkbox"/> 電気・電子 <input checked="" type="checkbox"/> 材料 <input checked="" type="checkbox"/> 土木建築 <input checked="" type="checkbox"/> 環境工学 <input checked="" type="checkbox"/> 原子力工学 その他：
	(7) 関連するHP	https://www.jaea.go.jp/04/zningyo/recruit/

別紙1：令和8年度新卒職員（技術系職員）採用募集要項・業務分野詳細

A-8 (1) 関連拠点名 青森研究開発センター

青森研究開発センターは、青森県むつ市に本拠地を置き、原子炉施設の管理、環境試料等の極微量元素分析及び分析技術開発を実施するとともに、港湾施設の維持管理やむつ科学技術館の運営管理を行っています。主な業務の概要は以下のとおりです。

(2) 業務概要

○原子炉施設（廃止措置中）及び一般施設の管理、品質保証に関する業務を行います。
原子炉施設の運転・保守管理。一般施設の空調設備、冷暖房設備及び電気等機械室設備の運転・保守管理。建築物・構築物、機械設備及び電気設備の宮繕に関する検討及び補修・改修工事の設計並びに施工監理に関する業務等。

○加速器質量分析装置及び試料前処理装置の機械／電気／化学的な保守・改良、放射性壊変核種を利用した年代測定及び環境評価に関する業務を行います。

○関根浜港の維持管理に係る業務を行います。
港湾施設等に関する保守計画の立案実行、船舶の入出港・港湾施設の使用状況の管理、対外関係機関との連絡調整に係る業務。

(3) 求める人物像

・原子力の研究開発には社会との対話による理解促進が必要であり、技術者としての能力に加えて、様々なステークホルダーとの交流を深められる協調性を持ち、コミュニケーションを通じて全体の成果に貢献できる人材
・常に好奇心と向上心を持ち、かつ、技術の深さと広がりを持ったエンジニアの育成を目指し、原子力のみならず、電気、機械、化学、材料等の工学、理学をはじめとする幅広い分野の人材

(4) アピールポイント

青森研究開発センターは、原子力船「むつ」の原子炉に係る廃止措置及び加速器質量分析装置を用いた極微量元素分析・分析技術開発を実施する約50名程の比較的小規模な組織ですが、個々人の希望に応じて幅広い分野での研究・技術開発の場を提供できる環境があります。

(5) 勤務地
(採用時予定)

青森県(むつ市)

(6) 関連分野

理学系： 数学・情報 物理 化学 生物・農学 地学・地球科学 量子科学
工学系： 機械・システム工学 電気・電子 材料 土木建築 環境工学 原子力工学
その他：

(7) 関連するHP

<https://www.jaea.go.jp/04/aomori/>

別紙1：令和8年度新卒職員（技術系職員）採用募集要項・業務分野詳細

A-9 (1) 関連拠点名 敦賀拠点（ふげん・もんじゅ）

(2) 業務概要

敦賀拠点では、大型の水冷却炉では国内初となる原子炉本体解体に臨む「新型転換炉原型炉ふげん」及び国内初の大型ナトリウム冷却炉の解体となる「高速増殖原型炉もんじゅ」の廃止措置を進めています。両施設の廃止措置は様々な課題に挑戦する「新たな取り組み」であり、現在は主に以下を進めています。
○ふげん：原子炉周辺設備の解体撤去、原子炉本体解体に向けた遠隔解体装置の開発など
○もんじゅ：タービン/発電機設備の解体撤去、大型ナトリウム機器解体に向けたナトリウム処理装置の開発など

(3) 求める人物像

○廃止措置の完遂という長期の取り組みに使命感を持ち、課題の解決に向けて柔軟かつ前向きに考えて自発的に行動する人
○職場の仲間と協力してチームでプロジェクトを推進したいと志している人
○技術者としての能力に加え、様々なステークホルダーとの交流を深めながら廃止措置事業を進めることができるバイタリティのある人
（廃止措置は様々な分野での技術や専門性が求められるため、原子力工学の専攻に限りません）

(4) アピールポイント

○敦賀拠点では、「ふげん」「もんじゅ」の廃止措置を通じて、原子力発電所の廃止措置技術の確立・実証を目指しています。
○廃止措置の完遂に必要な様々な技術的課題を解決するだけでなく、原子力発電所の廃止措置に特化した効率的かつ合理的なマネジメント体制を確立します。これらを通じて得られた知見を体系化して国内外の学会等で広く発信したり、取り組み内容について様々なステークホルダーや有識者との交流を深めたりします。これまで取り組んでいない新たな取り組みについても、常に前向きに挑戦しています。
○我々と共に、原子力発電所の廃止措置プロジェクトをリードし、日本及び世界の廃止措置のスタンダードを目指していくという高い志で大きな社会貢献を果たしていきましょう。

(5) 勤務地
(採用時予定)

福井県（敦賀市）

(6) 関連分野

理学系： 数学・情報 物理 化学 生物・農学 地学・地球科学 量子科学
工学系： 機械・システム工学 電気・電子 材料 土木建築 環境工学 原子力工学
その他：社会科学、総合科学

(7) 関連するHP

<https://www.jaea.go.jp/04/turuga/>
<https://www.jaea.go.jp/04/fugen/>
<https://www.jaea.go.jp/04/monju/>

別紙1：令和8年度新卒職員（技術系職員）採用募集要項・業務分野詳細

A-10 (1) 関連拠点名 埋設事業センター

(2) 業務概要

原子力や放射線の研究は、将来のエネルギー確保や医療・工業・農業に活用され、私たちの暮らしを支えています。
研究や医療活動などで発生する放射性廃棄物の安全な埋設処分は、持続可能な原子力の研究や放射線利用を目指していくうえで、大変重要な役割を担っています。
安全な埋設処分を行うための技術開発では、埋設施設の設計（土木・建築）や放射性核種の環境中への移行解析、原子炉内の中性子輸送計算、放射化計算などのシミュレーションに加え、立地環境調査（水位・水質測定・地質調査）のためのフィールドワークや化学実験などに取り組んでいます。

(3) 求める人物像

○安全な埋設処分の実現に貢献したい人
○使命感をもって意欲的に業務に取り組むことができる人
○組織の一員として、円滑にコミュニケーションができる人
○専門分野に加え、様々な技術開発分野に挑戦できる人

(4) アピールポイント

研究や医療活動などで発生する放射性廃棄物の安全な埋設処分は、国の政策に基づき原子力機構が実施主体となっており、社会的意義や貢献度が大きく、やりがいのある魅力的な技術開発のテーマです。
埋設処分を行う諸外国（米国、フランス、英国、韓国等）や国際機関（IAEA等）との国際協力を通して、スペシャリストとしてグローバルに活躍できるフィールドもあります。

(5) 勤務地
(採用時予定)

茨城県（東海村）

(6) 関連分野

理学系： 数学・情報 物理 化学 生物・農学 地学・地球科学 量子科学
工学系： 機械・システム工学 電気・電子 材料 土木建築 環境工学 原子力工学
その他：

(7) 関連するHP

<https://www.jaea.go.jp/04/maisetsu/>

別紙1：令和8年度新卒職員（技術系職員）採用募集要項・業務分野詳細

A-11 (1) 関連拠点名 新試験研究炉推進室

(2) 業務概要

新試験研究炉推進室では、「もんじゅ」の敷地内に新たに試験研究用の原子炉を設置するプロジェクトを進めています。新たな試験研究炉は、原子炉から発生する中性子を活用したさまざまな基礎的な研究をはじめ、革新的な研究開発、医療用RIに関する研究、原子力の安全性研究といった研究開発とともに、地域産業との連携や共生、原子力の教育などへの貢献が期待されています。
新試験研究炉推進室は、この新試験研究炉プロジェクトを京都大学、福井大学と連携し、西日本における原子力を活用した研究開発・人材育成の中核をなす拠点としてふさわしい試験研究炉の設置に向けた設計に取り組んでいます。

(3) 求める人物像

○新たに試験研究炉を設計し設置するには様々な知識・技術が求められるため、原子力に限らず、電気、機械、材料、物理、化学などの工学、理学をはじめ幅広い分野の人材。
○好奇心と成長意欲を持ち、新しい技術開発に根気強く果敢にチャレンジし続けることが出来る人材。

(4) アピールポイント

国内外で中性子を用いて実験できる設備や施設が減少傾向にあるなかで、日本で約30年ぶりとなる新しい試験研究炉の設置です。日本の技術力の維持・発展への貢献に学术界や産業界のみならず、地域の皆さまからも大きな期待が寄せられています。発電炉を含めても、新しい原子炉の設置に関わることは極めてまれなチャンスです。自らが設計した試験研究炉が広く社会に貢献することを目標に、私たちとともに本プロジェクトを推進しましょう。
採用後原子力科学研究所で稼働している試験研究用原子炉JRR-3の運転員等として3年程経験を積んでもらう場合もあり、実践的な知識を十分に習得したうえで、新しいプロジェクトに取り組んでもらえます。

(5) 勤務地
(採用時予定)

茨城県(東海村)
※採用後、最初の3年間原子力科学研究所で稼働中の試験研究用原子炉JRR-3で運転員等として実践的経験を積んでもらう場合もあります。
※プロジェクトの進捗により、今後主となる事業拠点が「福井県(敦賀市)」に移転する可能性があります。

(6) 関連分野

理学系: 数学・情報 物理 化学 生物・農学 地学・地球科学 量子科学
工学系: 機械・システム工学 電気・電子 材料 土木建築 環境工学 原子力工学
その他:

(7) 関連するHP

<https://www.jaea.go.jp/04/nrr/jp/index.html>

別紙1：令和8年度新卒職員（技術系職員）採用募集要項・業務分野詳細

B	業務分野名	核物質管理及び放射線管理・測定・モニタリングに関する技術開発分野
	(1) 関連拠点名	安全・核セキュリティ統括本部
	(2) 業務概要	<p>(1) 原子力施設の安全確保（放射線管理・測定・モニタリング）、緊急時対応体制の確保 ○原子力施設の安全確保のため、放射線管理及び施設周辺の環境放射線・放射能監視を行います。取得した放射線管理データ等は分析し、施設の安全確保の向上に反映します。 ○原子力施設の安全性の更なる向上のため、放射線管理等の高度化に関する技術開発を行います。具体的には、内部・外部被ばく線量評価に関する研究、新しい放射線検出デバイス等の開発、環境中の超ウラン元素分析等に関する技術開発等それぞれの分野での世界最先端の技術開発を行います。 ○火災、ケガ、機器故障及び核セキュリティに係る異常等が発生した際、状況把握し原因を推定するため情報を収集して対策案等を検討し、事態の収束に向けた対応を図ります。また、緊急時に利用可能な設備の維持管理も行います。</p> <p>(2) 核物質の管理（核セキュリティ、計量管理、保障措置） ○機構が保有する核物質が盗取等されないようにするため、核物質防護や情報システムセキュリティに関する実務を行います。具体的には、不審者等を発見するための監視カメラやセンサ等の高度化検討や、原子力施設への出入管理等を行います。 ○機構が保有する核物質を測定し帳簿に記録して管理します。核物質測定に必要な技術開発は国内外の研究機関等と共同で行います。また、国際原子力機関（IAEA）等が機構の施設に立入って実施する査察への対応等を行います。</p>
	(3) 求める人物像	核物質管理及び放射線管理等に関する分野での実務や技術開発、国際協力等に強い意欲と責任感を持って取り組める、コミュニケーション能力や専門性に対する向上心とそれを使って機構内外で活動する意欲の強い人材を求めます。また、危機管理（緊急時対応）に強い興味を持ち、事故・トラブル発生時に落ち着いて対応できる人材を求めます。
	(4) アピールポイント	原子力の研究開発には、原子力施設の安全確保（放射線管理・測定・モニタリング）、緊急時（火災、ケガ、機器故障等）対応体制の確保、プルトニウムやウラン等の核物質の厳格な管理（盗取等されないように守る：核セキュリティ、盗取等されていないことを確実にする：計量管理、保障措置）が必要・不可欠です。本分野は原子力機構の根幹を成す業務です。また適性等に応じ、国際機関（IAEA：オーストラリア、ICRP：カナダ）等への派遣の機会があります。さらに、これらの経験を経て、国や自治体等のアドバイザーとして、指導助言に当たります。
	(5) 勤務地 (採用時予定)	茨城県（東海村、大洗町） 福島県（いわき市、大熊町、富岡町、南相馬市、楡葉町） 北海道（幌延町） 岐阜県（土岐市、瑞浪市） 岡山県（鏡野町） 青森県（むつ市）
	(6) 関連分野	理学系： <input checked="" type="checkbox"/> 数学・情報 <input checked="" type="checkbox"/> 物理 <input checked="" type="checkbox"/> 化学 <input checked="" type="checkbox"/> 生物・農学 <input checked="" type="checkbox"/> 地学・地球科学 <input checked="" type="checkbox"/> 量子科学 工学系： <input checked="" type="checkbox"/> 機械・システム工学 <input checked="" type="checkbox"/> 電気・電子 <input checked="" type="checkbox"/> 材料 <input checked="" type="checkbox"/> 土木建築 <input checked="" type="checkbox"/> 環境工学 <input checked="" type="checkbox"/> 原子力工学 その他：医学・保健学、人工知能
	(7) 関連するHP	○福島廃炉安全工学研究所 https://fukushima.jaea.go.jp/recruit/post/management.html ○原子力科学研究所 https://www.jaea.go.jp/04/ntokai/houkan/index.html https://www.jaea.go.jp/04/ntokai/hoan/index.html https://www.jaea.go.jp/04/ntokai/magazine/index.html ○大洗原子力工学研究所 https://www.jaea.go.jp/04/o-arai/research/safety.html ○核燃料サイクル工学研究所 https://www.jaea.go.jp/04/ztokai/summary/center/houshasen/ https://www.jaea.go.jp/04/ztokai/summary/center/hoan/index.html https://www.jaea.go.jp/04/ztokai/interview/index.html

別紙1：令和8年度新卒職員（技術系職員）採用募集要項・業務分野詳細

C 業務分野名 核不拡散・核セキュリティ・非核化に関する技術開発・人材育成分野

(1) 関連拠点名 核不拡散・核セキュリティ総合支援センター

核不拡散・核セキュリティ総合支援センターでは核兵器・核テロのない世界を目指して、核不拡散・核セキュリティ・非核化分野における海外機関と連携した技術開発・協力、人材育成、政策研究といった業務にチームワークで取り組んでいます。

(1) 核不拡散・核セキュリティ技術開発

IAEA等の国際機関や各国の核不拡散・核セキュリティ分野で活用される技術の開発を国内及び米国・欧州の研究機関と連携して実施しています。

①核鑑識技術開発業務

核鑑識とは、紛失・密輸・盗取、あるいはテロ行為などの現場から押収された核物質（ウラン・プルトニウム）や放射性物質の物理的・化学的特徴を分析し、その出所、履歴、使用目的等を特定することにより捜査機関の活動を支援するための技術です。これには、含まれる不純物の化学分析、核物質の「年代測定」のための放射化学分析、電子顕微鏡による形態学的分析、そして得られたデータの解析等があります。これらの技術開発を国際共同研究を通じて行い、国際パートナーと共に核セキュリティの強化に貢献します。

②核検知・核物質測定

将来のIAEA保障措置等に適用可能な核物質の非破壊測定技術、公共施設に仕掛けられた「汚い爆弾」（放射性物質飛散装置）に含まれる核物質・放射性物質の検知技術、密輸などを目的として遮蔽容器の中などに隠された核物質・放射性物質の検知技術の開発を通じて核テロの防止や核不拡散の強化に貢献します。

(2) 業務概要

③CTBT0技術協力

核実験の検知・検証を目的とする包括的核実験禁止条約機関（CTBT0）の国際監視システム（IMS）のうち、国内の放射性核種モニタリングステーションと試料測定のためのラボの運用、世界中のステーションの観測データの解析や大気拡散シミュレーションを使った放出源推定解析を行います。また、関連する技術開発・協力も行い、CTBT0の核実験検知体制の維持・高度化を通じて非核化に貢献します。

(2) 人材育成支援

アジアを中心とした国の規制機関や国内行政機関・原子力事業者等を対象に核不拡散・核セキュリティに関するトレーニング等の提供をIAEAや欧米の機関と協力して実施し、アジア地域の核セキュリティ・核不拡散の強化に貢献します。トレーニングや実習を効果的にするために核物質防護システムに用いられている機器を備えたISCN実習フィールドやバーチャル・リアリティ（VR）システム等の施設・設備の開発やこれらを活用したカリキュラム開発等にも取り組みます。

(3) 政策研究

国内及び国際的な動向を調査・整理し、技術的知見に基づき国際法や社会科学とも連携した核不拡散・核セキュリティに関する諸課題を分析する政策的研究を通じて関係行政官庁の政策立案への貢献を目指した取り組みを行います。

(3) 求める人物像

核不拡散、核セキュリティ、もしくは非核化分野や、そこで使われている技術、技術開発や国際協力、人材育成支援、政策研究のいずれかに対する関心と好奇心を有し、専門性を身に付けて高めて行こうという意欲、プロジェクトをチームワークでやり遂げようとする責任感と語学を含むコミュニケーション能力、また、これらを活かして将来的にはIAEAやCTBT0といった国際機関等への出向や国際共同研究など、国際的な場で活動する意欲のある人材を求めます。

(4) アピールポイント

原子力科学技術の健全な発展と核兵器と核テロのない世界の実現を目指して、IAEAやCTBT0を始めとする海外や国内の行政機関との連携を深めながら、原子力の平和利用に不可欠な核不拡散、核セキュリティの向上と非核化への貢献に積極的に取り組むというユニークな組織です。多様なスタッフがこれらの取り組みを通じて、この分野の専門家や国際機関等で活躍できる人材の育成に取り組んでいます。

(5) 勤務地（採用時予定）

茨城県（東海村）

(6) 関連分野

理学系： 数学・情報 物理 化学 生物・農学 地学・地球科学 量子科学

工学系： 機械・システム工学 電気・電子 材料 土木建築 環境工学 原子力工学

その他：社会科学、国際法、心理学

(7) 関連するHP

<https://www.jaea.go.jp/04/iscn/>

別紙1：令和8年度新卒職員（技術系職員）採用募集要項・業務分野詳細

D	業務分野名	建設及びユーティリティ施設の工務技術に関する分野
	(1) 関連拠点名	建設部
	(2) 業務概要	<p>【D-1 建設に関する分野（土木・建築系、電気・機械系、耐震、地震・津波評価等）】 機構が建設又は保有する原子力施設、研究施設等について、耐震、免震、制振等の最新技術工法による建築・土木構造物及び機械・電気設備の設計・構造評価及び施工監理の業務を行うとともに、設計・構造解析手法、建設工法等の最新化・最適化に係る技術開発等の業務を行います。また、規制・基準要求に基づき、地質・地盤構造の調査・解析を行い、地震動・基準津波を策定し、地盤、構造物への影響を評価する業務を行います。</p> <p>【D-2 ユーティリティ施設等の工務技術管理に関する分野（土木・建築系、電気・機械系）】 原子力施設や研究施設等について、電気設備、蒸気設備、換気空調設備、温冷熱源設備、給排水設備等の運転・保守管理や、営繕（建築物の新築、増築、修繕及び模様替え）に関する設計、施工監理に係る業務を行います。また、機械、電子機器の工作に関する技術開発並びに修理及び保守に係る業務を行います。</p>
	(3) 求める人物像	<p>○施設建設業務やユーティリティ供給などの重要性や意義を理解し、使命感やチャレンジ精神を持って意欲的に業務に取り組むことができる人材を求めます。</p> <p>○自身の専門分野に捉われず、関係者と円滑にコミュニケーションを図り、協力しながら共通の目標に向かって前向きに行動できる人材を求めます。</p>
	(4) アピールポイント	<p>○建設及び工務に関する業務の魅力について、所属する若手職員の感想（アピールポイント）は以下の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none">・施設建設等を通して国家的なプロジェクトに携われる・業務の幅が広く、様々な場所で業務や人に携われる・一人ではなく、チーム一丸となって業務に当たっている・新しい技術を取り入れ、挑戦する機会が多い・技術職でも研究開発に意欲的で、理解のある人が多い・男女問わず働きやすい環境作りを意識してくれている
	(5) 勤務地(採用時予定)	茨城県（東海村、大洗町） 福島県（大熊町、富岡町、南相馬市、楡葉町） 福井県（敦賀市） 北海道（幌延町） 岐阜県（土岐市、瑞浪市） 岡山県（鏡野町） 青森県（むつ市）
	(6) 関連分野	理学系： <input checked="" type="checkbox"/> 数学・情報 <input checked="" type="checkbox"/> 物理 <input checked="" type="checkbox"/> 化学 <input checked="" type="checkbox"/> 生物・農学 <input checked="" type="checkbox"/> 地学・地球科学 <input checked="" type="checkbox"/> 量子科学 工学系： <input checked="" type="checkbox"/> 機械・システム工学 <input checked="" type="checkbox"/> 電気・電子 <input checked="" type="checkbox"/> 材料 <input checked="" type="checkbox"/> 土木建築 <input checked="" type="checkbox"/> 環境工学 <input checked="" type="checkbox"/> 原子力工学 その他：
	(7) 関連するHP	https://www.jaea.go.jp/04/ntokai/ https://www.jaea.go.jp/04/ztokai/index.html https://fukushima.jaea.go.jp/okuma/

別紙1：令和8年度新卒職員（技術系職員）採用募集要項・業務分野詳細

E	業務分野名	基幹情報システムの運営・技術開発分野
	(1) 関連拠点名	システム計算科学センター
	(2) 業務概要	<p>基幹情報システムは、日本原子力研究開発機構(以下、機構)の業務遂行に不可欠な重要インフラであり、機構の各種情報システムの安全性と信頼性を確保するための情報セキュリティ対策システム、国内外に点在する機構の各拠点を結ぶネットワーク、原子力研究を支えるスーパーコンピュータ、機構業務を支える情報基盤等から構成される。</p> <p>本テーマでは、基幹情報システムに係る運用・管理、企画(整備計画立案)、システム設計、データ分析・解析、検証等を行うとともに、システム開発(構築・整備)、ソフトウェア開発、情報セキュリティやデジタル化のための技術開発を実施する。また、業務のDX(デジタルトランスフォーメーション)推進に係る技術的検討、環境構築に従事する。</p>
	(3) 求める人物像	<p>○機構に与えられた使命(存在意義)及びその達成に不可欠な基幹情報システムの重要性を理解し、自らの役割を認識して行動できる人。</p> <p>○常に先端情報技術の習得に努め、自身の強みを伸ばすことができる人。</p> <p>○他の職員等(システムの利用者)との円滑なコミュニケーションができる人。</p>
	(4) アピールポイント	<p>機微な技術を扱う機構において、機密情報や個人情報の保護、サイバー攻撃からの防御等の業務は、機構の根幹を支える重要な仕事です。また、基幹情報システムの設計や開発、DX推進等にあたり最新技術の導入に従事することで、常に新しい技術の習得や適用が求められ、自身のスキル向上や新たな価値の創造に挑戦することができます。</p>
	(5) 勤務地(採用時予定)	茨城県(東海村)
	(6) 関連分野	<p>理学系：<input checked="" type="checkbox"/> 数学・情報 <input type="checkbox"/> 物理 <input type="checkbox"/> 化学 <input checked="" type="checkbox"/> 生物・農学 <input type="checkbox"/> 地学・地球科学 <input type="checkbox"/> 量子科学</p> <p>工学系：<input checked="" type="checkbox"/> 機械・システム工学 <input checked="" type="checkbox"/> 電気・電子 <input type="checkbox"/> 材料 <input type="checkbox"/> 土木建築 <input type="checkbox"/> 環境工学 <input type="checkbox"/> 原子力工学</p> <p>その他：情報（計算機システム・ネットワーク）</p>
	(7) 関連するHP	https://ccse.jaea.go.jp/